

会 議 録

第1回定例会

開会 令和8年4月13日

教育委員会会議録

1 開 会 令和8年4月13日 午後1時40分

2 閉 会 令和8年4月13日 午後2時10分

3 教育委員会出席者

教育長	中川 齊史
委員	島 隆寛
委員	横田 賢二
委員	糸井 恵理
委員	武田 國宏
委員	横田 恵理子

4 教育長及び委員以外の出席者

副教育長	高崎 美穂
教育改革統括監	眞相 秀也
教育次長	遠藤 岳哉
教職員課長	金岡 由岐子
いじめ・不登校対策課長	福多 博史
教育政策課長	玉岡 あき子
教育政策課副課長	藤川 憲一郎

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。
各委員 異議なし。
教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

教育長 議案第1号及び報告事項2を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。
各委員 異議なし。
教育長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《報告事項1 教職員の働き方改革の取組に関する「教育長メッセージ」について》

教育長 報告を求める。
教育政策課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

横田(恵)委員：電話や面談の時間を1件30分以内とすることや、録音機能の導入推進が印象に残った。教員生活の経験上、時間が読めず教職員の負担となるのが電話対応や面談である。録音機能の導入は、教員も自分の発言に責任を持ち、お互いの意見をきちんと聞き合う対応ができるため非常に有意義である。前向きな意味であることを強調し、保護者や地域に受け入れられるような丁寧な説明と周知をお願いしたい。

教育政策課長：現場の負担軽減に加え、保護者と教員との共通理解という点でも有益であるため、いただいた趣旨を含めて周知していく。

島委員：最近はAIの音声要約機能などのレベルが上がっており、報告業務の効率化のためにそうした機能の活用を支援していくことも考えられるのではないか。

武田委員：メッセージの発出方法について、既に発出されている県立学校へ

の具体的な周知方法を伺うとともに、市町村立学校については県から指示があるのか、市町村に任せるのか伺いたい。

教育政策課長：県立学校への周知方法は、保護者説明会等での配布、学校ホームページへの掲載、地域の運営協議会での案内など、各学校の判断によるが、保護者に確実に届くよう十分伝えている。市町村教委へは、先週の市町村教育長会議等でひな形として示している。県と市町村が足並みを揃えて共同宣言した趣旨から、県下全域で統一したメッセージとして発出できればと考えているが、留守番電話が未設置の学校など個々の実情には柔軟に対応していく。

武田委員：市町村立学校向けについて、これまでの学校文化からの大転換となるため、書面だけが発出されると保護者は「学校が冷たくなった」と感じる恐れがある。教職員の働き方改革の必要性は理解されていると思うが、「問題が起こっても対応は30分」「これ以外の時間は電話を受け付けない」という印象を持たれかねない。学校長が責任を持ち、PTAの総会などで丁寧に説明していかなければ、教育の根幹である学校と保護者との信頼関係が崩れてしまう。また、地域への情報発信についても、それぞれの市町村教委では市町村の広報誌等、様々な手段があると思うが、市町村行政においては教育行政の占めるウェイトが非常に高いので、発出に際しては、あらゆる部局と連携した緻密な計画を作成していかなければ、学校と保護者、地域コミュニティが離れてしまう危惧があるため、十分配慮してほしい。

教育政策課長：本計画を進めるにあたり、来月早々に県と各市町村の教育委員会が一堂に会する会議の開催を予定している。委員からいただいた懸念や趣旨も含め、十分に情報共有して進めていきたい。

[非公開]

《議案第1号 徳島県いじめ問題等対策審議会委員の任免について》

《報告事項2 服務上の措置の実施報告について》

[閉 会]

教育長

本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午後2時10分